

もしかして、

TB Free World 2021

～結核のない世界を目指して～

結核 カモ！？



結核とはどんな病気？

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症が起きる病気です。
最初は風邪に似た症状が始まりますが、下記のいずれかに当てはまる場合には、早めに受診しましょう。

タンのからむ咳・微熱・身体のだるさが2週間以上続いている

「長引く咳は赤信号」

・・・だけど、

咳やタン、発熱などの症状が出ないことがあります。



複十字シール運動イメージキャラクター
シールぼうや

■ 体重減少

■ 寝汗

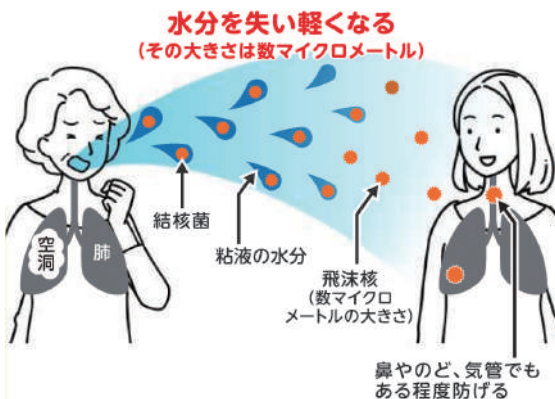
■ 食欲がない

このような症状が続く場合、**結核かも**もしれません。

※特に高齢者は、症状が出なくても毎年、胸部 X 線検査を受けましょう。

結核は感染するの？

菌を出している肺結核患者の咳やくしゃみなどの「しぶき」といっしょに、結核菌が空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことで人から人にうつります。これを「空気感染」といいます。



青森県の結核の現状 ※()内は全国数
(2020/1/1～12/31)

結核罹患数 **120人** (12,739人)

罹患率 (人口10万対) **9.7** (10.1)

- ・ 感染しても、すべての人が発病するわけではありません。健康であれば、免疫の働きによって結核菌を抑え込んでしまいます。
- ・ 病気などで免疫力が落ちると、抑え込まれていた結核菌が再び活動をはじめ、発病する可能性があります。
- ・ 感染しても発病していない人は、潜在性結核感染症として、6か月間の薬を服用することで発病を予防します。

※結核予防会発行「結核の常識2021」、厚生労働省「2020年結核登録者情報調査年報集計結果」から出典

結核は治せるの？

結核と診断されても、6 カ月から 9 カ月間毎日複数の薬をきちんと飲めば治ります。さらに、他の人にうつす可能性を低くします。しかし、症状が消えたからといって治療の途中で服薬を止めてしまうと完全に治りきらず、菌は抵抗力をつけ、薬が効かない耐性結核菌を作り出してしまいう危険性があります。

日本版 DOTS (ドッツ)

Directly Observed Treatment, Short-course

確実に治療が行われるよう、入院中も退院後も医療従事者が服薬を見守る仕組みを、DOTS (ドッツ) といい、医療機関と保健所が協力して行います。



結核の治療費用は、届け出をすることで**公的負担**が受けられます。治療を含め結核に関することは、**お近くの保健所**にご相談ください。

結核と新型コロナウイルス感染症の関わり

世界的な新型コロナウイルスの蔓延は、結核にも大きな影響を及ぼしました。健康診断の中止や延期、受診者自身による健診の受診控えが生じ、結核患者の発見が滞ってしまいました。

結核患者の見逃しは、重症化だけでなく集団感染につながりかねません。このようなことを防ぐためには、健診や医療機関を受診し、早期発見、早期治療が欠かせません。健診会場や医療機関は感染対策を徹底しておりますので、怖がらず受診しましょう。

結核をなくすための活動～複十字シール運動～



2021 年度シール

複十字シール運動は、結核のない世界をつくる運動です。募金活動を行うとともに、病気への理解を広め、予防の大切さを伝えていきます。

募金をいただいた方に「シール」を差し上げています。シールをお使いいただくことで、運動の輪が広がります。

～今年度の複十字シールテーマ～

どんなに離れていても、
どんなに会えなくても、思いは届く



コロナ禍で人と人が会うことが難しいなか、人々や動物たちがさまざまな方法で思いを伝え合う様子が描かれています。

※青森県支部の活動は、センタートピックスにて紹介しております。

イラストレーション・
グラフィックデザイン：
あさいとおる 氏

